

## ヒグマに関する長期モニタリング項目について

### 1. 背景

知床世界自然遺産地域を科学的知見に基づき順応的に管理していくため、長期的なモニタリングを実施することとなっている。順応的な管理を「効果的かつ効率的」に実施するために「知床世界自然遺産地域長期モニタリング計画」を平成 23 年度中に策定する予定。

本計画は 10 年を一期とし、概ね 5 年毎に継続・変更について検討を行う。

### 2. ヒグマに関する長期モニタリング項目

モニタリング項目名：ヒグマの目撃・出没状況、被害発生状況に関する調査

モニタリング手法：知床半島全域にて、ヒグマの目撃情報や出没状況、被害発生情報をアンケートや通報などにより収集。

評価指標：出没及び被害発生の状況

評価基準：出没状況：現状を上回らないこと。

被害：人身被害が発生しないこと、その他の被害は現状以下に。

### 3. (参考)

上記の長期モニタリング項目に対応する、「知床半島ヒグマ保護管理方針」記載調査項目（「知床半島ヒグマ保護管理方針」付属資料 3 より抜粋）

調査項目	現在の実施主体	調査内容	備考
ヒグマ目撃アンケートの実施	斜里町、羅臼町、知床財団	ヒグマ目撃アンケートにより出没情報を収集する。	標津町内については未実施。
農林水産業被害統計	斜里町、羅臼町、標津町	各町の一次産業に対するヒグマ被害の状況について、集計し取りまとめる。	データの取り方、項目等は 3 町間で統一していない可能性がある。水産被害については数量的な被害集計は不可能。
出没や被害に関する通報・対応件数と対応状況の記録	環境省、斜里町、羅臼町、標津町、知床財団、NPO 法人南知床ヒグマ情報センター	各機関に対する通報対応件数・対応状況等を取りまとめる。	データの取り方、項目等は 3 町間で統一していない可能性がある。